

第 1 回 吉 井 地 域 審 議 会

第 5 次総合計画前期実施計画に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
吉井地域総合福祉センター (仮称)建設事業	1	吉井地域総合福祉センター(仮称)建設事業について、「子供から高齢者、障害者や健常者を含む」との記載があるが、児童や子どもたちは、どのような使い方が想定されるのか。	まだ、具体的に内容は固まっていないが、例えば、いま社会福祉協議会で行っている「おもちゃ」図書館、或いは子育て支援ルーム、各種団体のボランティアが利用できるような専用の部屋、あるいは会議室等の設置や、規模的には小さいが浴室等も設けて、子供から高齢者まで利用できるものを作っていきたいと考えている。
吉井地域活動支援センター 重度心身障害デイサービス センタ - (仮称)」建設事業	1	「こはぎ」の施設の床面積が増えたと聞いたが、床面積に変更があったか。	吉井地域活動支援センター及び重度心身障害者デイサービスセンタ - 建設事業は、昨年度地元へ説明を行った段階では、床面積を470㎡程度としていたが、その後、関係各方面と検討を行う中で、面積を少し増やしたほうがいいとの意見があり、30㎡程度増床し床面積500㎡程度として検討を行っている。
	2	床面積の増加により、定員をふやすということはできないか。	定員については、建設懇話会で、吉井地域支援活動センターについては20人程度と提言をいただいた。 全体の床面積を30㎡程度増加するよう検討中だが、床面積が増加したことで即定員が増えるかということは、施設内の各室の配置等の関係や技術的な関係もありここで即答するのは難しい。
	3	4回の建設懇話会の中で駐車場問題について、検討されたことはあったか。 現在でも、市民の検診日には相当数の車両があつまり、混雑している。そこに、福祉センターが加わると、車両が相当数集まるので、建設懇話会のなかで、駐車場についてどのような検討が行われたのか伺いたい。	現在、保健センターがある関係で、駐車場についての検討は行っている。保健センターの西側の部分は、ある程度用地に余裕があり、完全な駐車場にするということではなく、利用者が多い場合には使用できるような形で、利用可能ではないかと検討している。 また、支所が近い場所にあるので、利用者で駐車場が近くに必要とする方から順に保健センターの敷地内に停めていただくなど、利用者に応じた棲み分けを行うことが可能ではないかと検討がされている。

事業名	No.	質 疑	回 答
多胡郡建郡1300年記念事業	1	<p>多胡碑を全国にアピールすることについて、奈良と吉井町は関係しているところがあると思うので、奈良の1300年祭とタイアップして、多胡碑1300年記念事業を成功させることができるか。奈良市との関係は現在どのようになっているか伺いたい。</p> <p>また、奈良との関係や時代背景を明らかにし、これをうまく利用することで、多胡碑を全国にアピールできるのではないか。予算が足りないのであれば、増額すればよいと思っている。</p>	<p>奈良市との関係、タイアップについては、具体的な行動はしていない。全国の博物館にシンポジウムのポスターの掲示を依頼するなど周知を図り、全国の人にシンポジウムへ参加いただきアピールしたいと思っている。</p> <p>多胡碑1300年事業については限られた予算のなかで、最大限の努力をして、事業を実施していきたい。</p> <p>シンポジウムについては、多胡碑が奈良時代のものであり、このことを焦点に計画し進めていきたい。</p>
	2	<p>実施目的に、「多胡郡の成立が持つ歴史的な意味を考察する」とあるが、「多胡郡の成立が持つ歴史的な意味」とはどういうことなのか説明いただきたい。</p>	<p>711年に多胡郡が建郡されたので、その時代の背景を考察することによって、なぜ多胡郡ができたかということ考察するのが、今回のねらいである。</p>
	3	<p>「21年度事業実績」で、シンポジウム登壇者依頼というのがあるが、かなり学術的なトーンのシンポジウムになると聞いている。</p> <p>このシンポジウムの登壇者の名簿は公開されているのか伺いたい。</p>	<p>シンポジウムを依頼する登壇者については、昨年12月に依頼を行い、内諾をいただいている。登壇者を記載したポスターが過日完成し、吉井地域にも貼り出しを行っている。</p> <p>ご紹介申しあげると、</p> <p>国立歴史民俗博物館館長 平川 南 先生 専修大学教授 土生田 純之先生、 岡山理科大学教授 亀田 修一 先生、 群馬県文化財保護審議会委員 右島 和夫 先生、 の4名をお願いをし、内諾をいただいている。</p>
	4	<p>多胡碑の開扉による一般公開は、一度だけしか記載がないが、従来から、毎年3月9日近辺の休日に開扉して、ガラス越しでなく、15cmぐらい近くから実物をみられた。</p> <p>この事業推進状況報告書によると、22年度事業にしか「開扉による多胡碑の公開」の記入がないので、今後は開扉をしないということなのか。</p>	<p>多胡碑の公開は、旧吉井町において、毎年3月9日に一番近い休日に公開をしていると思うが、建郡1300年を迎えるということで、2月5日～3月13日まで特別展を行うので、この間の土曜、或いは日曜日に毎週一回程度公開できないか、検討している。</p> <p>ただ、多胡碑から15cmくらい近くまで寄れた場合、触ってしまう等もあるので、その点についての対応を考えながら回数等を決定してゆきたい。一回ではないということでご理解いただきたい。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
多胡郡建郡1300年記念事業	5	多胡郡建郡1300年記念事業では22年度事業として、多胡碑の一般公開を行う計画になっているが、毎年3月に行っている開扉については、従来どおりできるのか伺いたい。	これまでも多胡碑は、毎年一回公開をしているので、これについては継続してやっていきたい。 ただ、特別な事業ではないので、回数を増やしていくことは難しいと思っている。毎年3月9日に近い、日曜日なり土曜日に一般公開を行っていたので、その日については、今後も継続していくということでご理解いただきたい。
	6	特別展は多胡碑記念館か、高崎のどこか別の施設で行うのか。	平成22年2月5日から3月13日まで、多胡碑記念館で行う。
多胡碑周辺重要遺跡範囲確認事業	1	多胡碑周辺重要遺跡範囲確認事業について、多胡碑の試掘対象面積9.7ヘクタールと記載があるが、概ねこのあたりという程度に、現地を見させていただくことも必要ではないか。 机の上だけの検討ではどのような状況なのか、審議会委員として、現地等について先行して知っておいたほうがよいのではないか。	試掘対象面積9.7haとなっているが、多胡碑を中心としてということで、具体的なエリアはまだ決まっていない。 これから試掘をする区域について、調査計画書の作成ということで準備を進め、調査計画ができあがった段階で試掘対象区域について、説明させていただきたい。
吉井中央公園（仮称）整備事業	1	吉井中央公園の予定されている場所については、おおよその事業用地の範囲は分かるが、行ける場所については具体的に現場を見て、確定ではないにしても、吉井中央公園の整備区域5.9haはこのあたりであるというふうに現地を確認することも必要ではないか。	吉井中央公園は、吉井町時代からいくつかの計画があり、その中で決められてきた経緯があるので、計画に基づく整備区域であれば、現場の確認もできないわけではない。 しかし、新市基本計画の中で決められた範囲は、これから地権者や地区住民の理解を得る必要があり、あまり話が先行してしまうと、難しい状況になる可能性もある。どのように進めれば、地区住民のご希望に沿う公園になるか、関係課で検討中である。 関係課で協議したうえで、審議会委員に報告したい。
	2	吉井中央公園について、事業開始が平成23年からということだが、遅いのではないか。いろいろな課題があることはわかるが、はじめから諦めてしまっているのではないか。 23年度の事業計画に住民アンケートとあるが、前期・後期を含めた計画を示さないと、アンケートを実施しても仕方がないのではないか。	吉井中央公園は実施期間が平成23年度から全期ということになっている。新市基本計画に整備面積5.9haとあるように、農振・農用地区域でこれだけの面積を外すということは、大きなハードルであるし、国の認可を得る必要がある。この手続きでも2、3年が必要になり、前期だけで済むような事業とは考えていない。完成させるために全期間を使って事業に取り組んでいきたい。

事業名	No.	質 疑	回 答
吉井中央公園（仮称）整備事業	3	<p>吉井弾薬支処で事故があった。こういった事故はいつあるかわからない。そういうことで、中央公園も防災機能を備えた総合公園として、実際は何年もまえから計画されてきた。</p> <p>弾薬支処も国、中央公園は国の補助ということであれば、共通するところもあると思うので、防災機能に重点を置いて、慎重に対応していただきたい</p>	<p>吉井弾薬支処の事故はあってはならないことが起こってしまったと思っている。</p> <p>この事業で掲げている防災機能は、これまでの検討経過から申しあげると、駅前の旧市街地についての住宅が密集し、整備されていない中で、地震とか火災等の場合の避難場所として市民が安心して生活できる区域として、下長根地区に公園を作っていきたいということで、いろいろ検討されてきた。</p> <p>これまでに作成された計画を踏襲したなかで、今後も内容を検討していきたい。</p>
森林広葉樹林化促進事業	1	<p>針葉樹の伐採をした枝は申請すればいただけるのか。道祖神（どんど焼き）に使用したいと考えている。</p>	<p>伐採した針葉樹の杉やヒノキの枝ということでお答えする。</p> <p>例年、冬の時期、1月から3月にかけて伐採を実施している。使用する用途が道祖神（どんど焼き）に際してとのことだが、枝の伐採については森林組合に作業を委託しており、枝の処分なども業者が行っている。</p> <p>伐採を行うのは先のこととなるので、後日それまでの間に検討させていただきたい。</p>
	2	<p>広葉樹林化事業について、「ナラ」を植えているとのことだが、活着率はどの程度となっているか。</p>	<p>活着率については把握していないが、木が芽を出してからでは、活着率が落ちてしまうため、植栽に一番良いとされているのは3月中旬から下旬にかけてである。例年、その時期に植栽を実施している。</p>

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
コミュニティセンターの管理について	1	<p>近い将来、東と西のコミュニティセンターに、職員を常駐させると聞いているが、市の広報では、市内の公民館に管理人を募集しているとしていた。</p> <p>管理人を置くとなると、それなりの広さが必要だと思うが、大規模な公民館に限ってのことと理解してよいか</p>	<p>東と西のコミュニティセンターに職員を置くという話は聞いていない。旧市の公民館には、管理人を置いている公民館もあるが、今は警備会社によるセキュリティの面に重点を置いて、充実させていく方向である。</p> <p>現在のところ、最も新しいのが北公民館で、管理人を現在のところ置いていない。大きな公民館ではあるが、現段階では、警備会社によるセキュリティに重点を置いている。</p>
地域づくり活動協議会について	1	<p>区長会の中に小学校区の代表を置いたが、これはどのような役割をするのか。</p> <p>各区に規約の作成と事業目的、その他役員の選任について一般的な定めのほか、監査を設けて全体的な事業運営についてみるとのご指導があったそうだが、このへんについて聞かせてほしい。</p>	<p>小学校区ごとに代表者というお話だが、これからは小学校区ごとに事業を行った場合の、補助金等の受皿として小学校区単位の組織を作っていたら、その代表者を決めていただいた。その話が区の統合と誤解されてしまったようである。</p> <p>規約については、各区に市から補助金や手当等があるが、吉井地域では、各区に取り決めのようなものはあるが、旧市のようなこれといった規約がない。そのため吉井地域についても同様に規約を整備し、その中で区の中の役員の位置づけをしていただきたい。</p> <p>監査について全体をというのは、会計の監査だけでなく、区の運営全体をみるという意味であると理解している。</p>
地域活動について	1	<p>色々な事業について補助金があったが、最近はや望どおりにならないことが多く、各地区では事業を取り止めたり、縮小している。</p> <p>多胡地区では、クリーン作戦をおこなっているが、経費がかかるのでやめようという声もある。地区の様々な事業がなくなり、人の集まりも少なくなり、地域のコミュニケーションがなくなり、合併して地区の活動が衰退したのでは困るとの意見を聞いている。</p> <p>高崎市になればそのようなことはなるべく自前でやるようにという指導はあったが、支所としてはどのような考えで対応しているのか伺いたい。</p>	<p>クリーン作戦については、合併とは関係なく県の事業である。事業そのものは継続しているので、地区から申請をしていただければ、支所から県へ取次ぎを行わせていただく。手続き上、とくに難しくなったということはないので、地区住民の一層の協力のうえ、清掃活動を続けていただきたい。</p> <p>補助金等の削減については、吉井町当時から取り組んでいる。「合併したから住民負担が増える」と結びつけられやすいが、一例を申し上げますと、学校施設を使用する場合に照明負担（電気料）をお願いすることは、合併前から同じ方向で検討がされていた。たまたま</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
			<p>(前頁からの続き)</p> <p>合併を期に住民負担をお願いすることになったが、合併しなくても受益者負担の原則により、同じ方向となったと思われる。</p> <p>「大変だから」「補助金がなくなったから」事業をやめるというのは非常に残念だと思う。地域活動は、これから補助金の大小、有無を問わず、地域の人が地域のために盛り上げていただければと思っている。そして、地域でこんな事業をしたいが、県や市の補助金の有無についてというご相談があれば、対応させていただくので、地域づくりには積極的に取り組んでいただければありがたい。</p>